注　フレームの先頭で全てのレジスタについて１を初期値としてセットした後、TMCC情報により示されるパイロット位相に当該サブフレームのシンボル数を乗じた数に相当するクロック数を経過した後の状態を初期状態とし、サブフレームの先頭のシンボルから末尾のシンボルまで連続させて擬似乱数符号系列を発生させる。

別記３　変調信号の振幅

⑴　SPシンボルの場合

W_iの値	変調信号の振幅（I，Q）
0	（＋A，０）
1	（－A，０）

注　Aの値はデータシンボルの平均レベルに対する振幅のブースト比であり、モード、ガードインターバル比及びシンボル配置により異なる値とし、別記４に示すとおりとする。

⑵　BPシンボルの場合

W_iの値	変調信号の振幅（I，Q）
0	（＋１，０）
1	（－１，０）

⑶　CPシンボルの場合

伝送セグメント構成後にCPシンボルに隣接するセグメントのSPシンボルの振幅と同一とする。

別記４　SPシンボルのブースト比

モード	GI比	Dx	Dy	SPブースト比（A）
	１／16	6	1	1.12
			2	1.38
			4	1.61
	800／8192	3	1	0.85
			2	1.04
			4	1.29
			8	1.53
		6	1	1.29
			2	1.54
			4	1.81